

芦屋市立保育所 全体的な計画

一人ひとりの”いのち”を大切にする保育

理念		方針					目標						
一人一人のあるがままの姿を受け止め、共感し、子どもの豊かな育ちを援助する		様々な環境を通して、ともに育ち合う力を養う		家庭・地域社会と連携し、子育て支援の拠点としての役割を担う			㊸ かるく元気な子ども	㊹ しっかり考え合う子ども	㊺ さしい子ども				
年齢	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児							
年齢別目標	せんせいだいすき		せんせいといっしょに		じぶんでできるよ		いっしょにあそぼう		みんなといっしょに		ちからをあわせて		
養護	生命の保持	生理的欲求を満たす		生活リズムを整える		生活環境を整え、自我の育成を育む		基本的生活習慣の自立を促す		健康・安全への関心を高める		健康で安全な生活習慣の確立を支える	
	情緒の安定	応答的な触れ合いを大切にする		温かなやりとりにより心の安定を図る		自我の育ちを受容し共感する		主体性を育む		自己肯定感と他者の受容を育む		自尊感情を育む	
教育	ねらい	・保育士と共に心地よく過ごす ・自己表出する喜びを味わう		・自分でしようとする気持ちをもつ ・保育士と生活や遊びを楽しむ		・自分でできる喜びを味わう ・友達との関係を広げる		・自分のことは自分でしようとする ・友達と遊ぶことを楽しむ		・基本的生活習慣を身に付ける ・友達と思いを伝え合いながら遊ぶ楽しさを感じる		・生活の流れを理解し、見通しをもって行動する ・友達と共通の目的をもち、やり遂げる充実感を味わう	
	内容	伸びやか育につ伸び	・清潔に生活する心地よさを感じる ・自分で体を動かそうとする		健康	・安全で健康な環境の中で生活リズムが整う ・歩行により行動範囲と興味が広がる		・保育士との安定した関わりの中で食事や衣服の着脱、排泄等を自分でしようとする ・全身や手、指先を使って遊ぶ		・生活に必要な活動を自分でしようとする ・体を十分に動かして遊ぶ		・生活の流れや安全な生活の仕方がわかり、身に付ける ・体を十分に動かし、進んで運動しようとする	
		合身近うな人と気持ちが通じ	・特定の保育士との安定した関係の中で過ごす ・保育士の呼びかけや関わりに声やしぐさで、応えようとする		人間関係	・保育士や友達に関心をもち、自分から関わろうとする		・ごっこ遊びを通して、友達と遊ぶことを楽しむ ・生活や遊びの中でできまりがあることを知る		・友達との関わりの中で、相手の気持ちに気付く ・簡単なルールのある遊びを友達と楽しむ		・友達よさに気付き、一緒に活動する楽しさを味わう ・よいことや悪いことに気付く	
		が身育近なもの	・安全な環境の中で心地よく過ごす ・聞く、見る、触るなどの経験を通して感覚や感性を育む		環境	・身近な人や物に興味をもち、関わって遊ぶ		・身近な環境に関心が広がり、関わって遊ぶ		・身近な自然に関心を広げ、積極的に関わって遊ぶ		・身近な動植物・自然・社会現象に興味や関心をもつ ・自分なりに考えたり試したりしながら、工夫して遊ぶ	
		感性			表現	・保育士と一緒にリズムにのせて身体を動かすことを喜ぶ		・保育士や友達と過ごす中で、自分なりのイメージを広げて遊ぶ		・感じたことや考えたことを自分なりに表現して楽しむ ・様々な素材や用具に親しみ、友達と一緒に遊ぶ		・感じたことや思ったこと、想像したこと等をいろいろな方法で表現する ・友達とイメージを共有し、一緒に活動する楽しさを味わう	
食を営む力の基礎	・食べる意欲を育む		・意欲的に食べようとする		・食材に興味、関心をもつ		・みんなで食べることの楽しさを知る ・食生活に必要な習慣や態度に関心をもつ		・食を通して、いのちの大切さを知る ・食生活に必要な習慣や態度を身に付ける		・栄養と体の関係について興味をもつ ・食材や調理する人への感謝の気持ちをもつ		
事故防止・安全対策	・防災計画の作成 ・午睡時安全管理 ・救急蘇生法 ・防災マニュアルの点検 ・安全教育（生活や遊びのルール、遊具の使い方、交通ルール、防災ヘルメットや防災頭巾の着脱等の指導） ・AEDの設置 ・避難訓練（火災・地震・津波・水害・不審者侵入など） ・施設・遊具安全点検及び修繕 ・体調不良・感染症予防等疾病への対応 ・アレルギー・アナフィラキシー症状の状況把握と対応						打出保育所の特徴 ・当保育所は、公立保育所の中で一番歴史のある保育所（昭和27年8月開所）である。隣には谷崎潤一郎の旧居でもあった、富田砕花邸がある。閑静な住宅街の中にあり、地域に根ざし、近所の方々にも温かく見守っていただいている。園庭は日当たりがよく、保育所の横を流れる宮川では、しらすぎや鴨、亀などを見ることが出来る。 ・「あいさつをすること」「自分で出来ることは自分でしようとする」を大切に、朝夕や食事時の挨拶などを互いに心がけたり、子どもたちが自分から主体的に行動できるように、あそびや環境に配慮したりしている。あそびでは年長児・年少児の園庭の使用時間帯を配分し思う存分活動できるようにしている。自分であそびを見つけ、友だちと関わる環境づくりを目指している。 ・1歳児から5歳児までの各年齢の発達をふまえた年齢別保育を行っている。また、体力作りの毎朝運動に加え、年齢を超えた活動も積極的に取り入れている。 ・完全給食・自園調理を行い、医師の診断書に基づきアレルギー児の除去食・代替食を個々に対応している。食事を通して行事に興味を持てるように行事にちなんだ飾りや盛り付けをし、また生の食材にも触れて食育への関心を高めている。畑では野菜の収穫をして、クッキング保育も楽しんでいる。						
家庭・地域との連携	・懇談会 ・地域交流 ・保育参観 ・情報の発信 ・園庭開放 ・体験保育 ・子育て相談 ・フェスティバル(情報提供) ・全世代交流(就学前、小、中高生、高齢者等) ・オープンスクール ・評議員会 ・学校関係者評価(内部評価・外部評価)の公開												
小学校教育への円滑な接続	・接続期カリキュラムの活用 ・保育、授業研究会の参加 ・小学校との交流(体験給食、作品展、プール、音楽会等) ・就学前施設間の交流 ・就学時連絡会 ・指導要録の送付 ・サポートファイル、個別的教育支援計画等の引継ぎ												

保育所の教育及び保育において育みたい資質・能力

知識及び技能の基礎

思考力・判断力・表現力等の基礎

学びに向かう力・人間性等

幼児期の終わりまでに育ってほしい姿

① 健康な心と体

② 自立心

③ 協同性

④ 道徳性・規範意識の芽生え

⑤ 社会生活との関わり

⑥ 思考力の芽生え

⑦ 自然との関わり・生命尊重

⑧ 数量や図形、標識や文字等への関心・感覚

⑨ 言葉による伝え合い

⑩ 豊かな感性と表現